

神戸製鋼所の地域貢献活動を SCIX がサポート！

SCIX オリジナルのボールゲーム「スペースボール」の体験を加え、「学ぶ」と「運動する」を1日で体験できるプログラムを、地元の小学生を対象に実施しています。

その内容は？というと…神戸製鋼所が運営する「灘浜サイエンススクエア」と、「神戸製鉄所」の見学を通して「製鉄・発電・エネルギー・環境」と「工業」について学んだ後、灘浜スポーツゾーン灘浜人工芝グラウンドで「スペースボール」のチーム戦をみんなで楽しむというもの。毎年、神戸市灘区や東灘区や中央区、さらには北区の小学校約10校以上の5年生、総勢1000名近くが参加してくれています。今回は、2019年1月某日、灘小学校5年生63名による校外学習の様子をレポートします！

9:15 「灘浜サイエンススクエア」到着！



「おはようございまーす！」と元気いっぱいの声で、続々子どもたちが入館。館内ガイドのお姉さんたちが出迎えてくれます。



## 9:30 オリエンテーション



まずは、ホールで灘浜サイエンススクエアと神戸製鉄所見学に際してのオリエンテーション。ガイドの都竹さんがマイクとプロジェクターを使いながら説明してくれます。

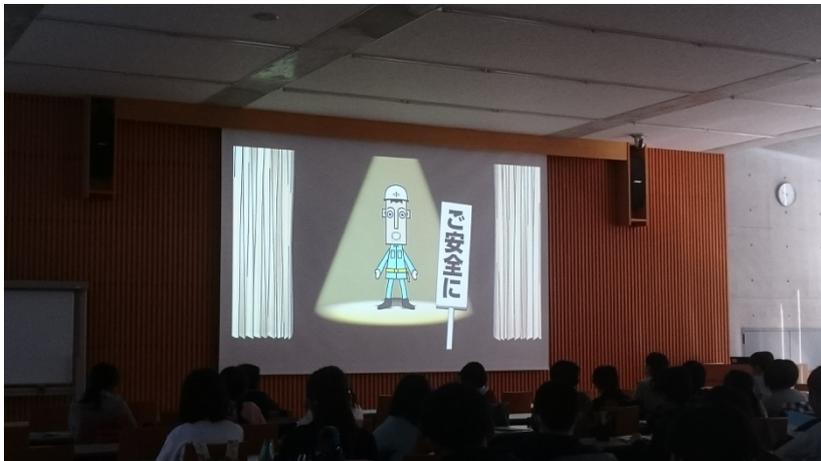
見学で学んだこと、不思議に思ったことをメモできる冊子や、施設のパンフレットもスタンバイ。



はじめに、館内&工場見学のスケジュールを紹介。この日は、生徒 63 名に先生 3 名、計 66 名ということで、2 班に分かれて見学します。先に工場見学をする班、先に灘浜サイエンススクエア内展示室を見学する班に分かれる旨が説明されます。



「灘浜サイエンススクエアに来たことのある人〜？」の質問には、9割近い人が手を挙げました。さすが地元の小学生！



「明石海峡大橋にも神戸製鉄所で作られた鉄が使用されている」「全世界の2台に1台の車に、この工場で作られた鉄からできた弁が使われている」というコメントに、「へー」「おー」と子どもたちも凄さを実感している様子。



「製鉄所の広さは甲子園球場何個分？」「この世から鉄が無くなるとどうなる？」…などとクイズを盛り込みながら、灘浜サイエンススクエアと神戸製鉄所がどういうところか？分かりやすくお話してくれます。

#### 10:00 見学準備

ここからは、2 班に分かれての行動。先に工場見学へ向かうグループは、机に置かれたイヤホンガイドの操作方法をチェック。ヘルメットをかぶり、いざ出発！



#### 10:10 バスで神戸製鉄所内へ

製鉄所は灘浜サイエンススクエアのすぐ隣ですが、製鉄所の敷地は広大なためバスで工場見学へ向かいます。「関係者以外立ち入り禁止」のゲートをくぐり、いよいよ工場内へ。



工場内は撮影禁止。普段は入ることのできない、見ることのできない世界に子どもたちは圧倒されると同時に、ワクワクドキドキ！

発電所の敷地内を通り、歴史のある製鉄所へと向かいます。

バスは目的地となる第七線材工場へ到着。保護メガネに軍手をはめ、バスを降ります。

イヤホンガイドのスイッチオン！イヤホンから聞こえる都竹さんの説明を聴きながら、工場内を見学します。第七線材工場では、ビレットという鉄の棒に圧力をかけて延ばし線材を作る工程を見ることができます。

工場に入ってまずビックリするのが、音の大きさ。



ガシャンガシャン！ウィーンウィーン！機械音が鳴り響いています。驚くのは音だけではありません。

約1000度の高温で鉄を熱する工程ポイントでは、見学をしている通路にまで熱気が伝わってくるほど。真冬だと暖房要らずの暖かさですが、真夏はどういう状態か、工場で働く人たちの大変さもうかがい知ることができます。

工場見学を終え、興奮冷めやらぬままバスへ。

灘浜サイエンススクエアへ戻ります。

バスの中では、ガイドの都竹さんからの「どうでしたか～？」の問いに、「面白かった！」

「ちよっと怖かったけど、楽しかったー！」と口々に感想を発する子どもたち。

11:00 バスで灘浜サイエンススクエアに戻り、展示室見学

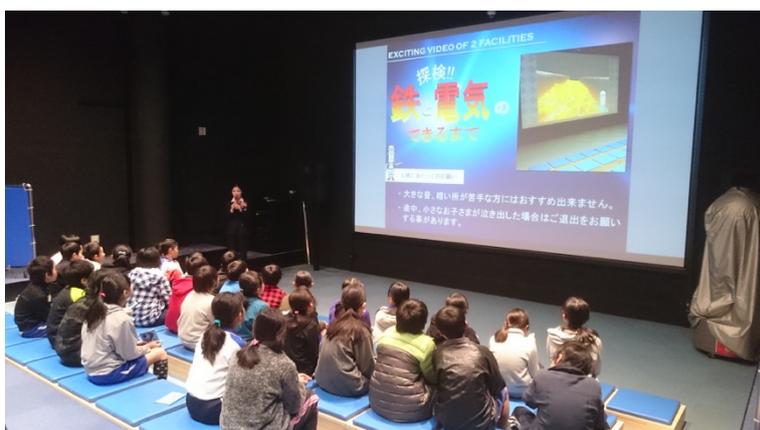
灘浜サイエンススクエアに戻ると、ヘルメットなど工場見学に使用したグッズを自分たちで仕分けし返却します。



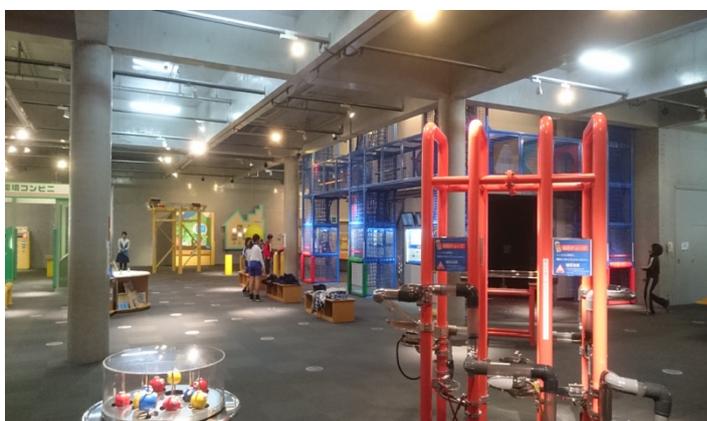
そのあとまず、「なだはまルーム」で「探検!!鉄と電気のできるまで」を鑑賞。



工場見学で見てきた工程を、灘浜サイエンススクエアのキャラクター・コベルコマンが説明してくれる映像を見ながら、おさらいすることができます。



およそ6分の上映が終わると、お待ちかねの展示室の見学&体験タイム！「製鉄・発電・エネルギー・環境」をテーマにした展示室では、遊びながら科学や技術の面白さ、不思議さを体感することができます。

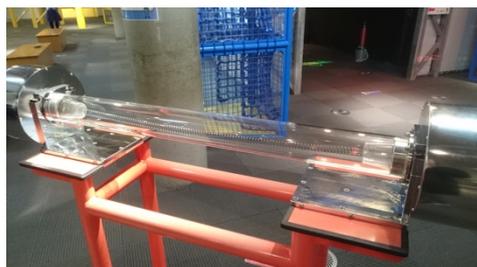


子どもたちが一斉に散らばり、目一杯遊びます♪ 不思議な形をしたアイテムがいっぱいの展示室。遊び方、使い方が書かれていないというのもポイント！「どうやって遊ぶものなのか？」「なぜこうなるの？」を自ら考えるように展示されています。

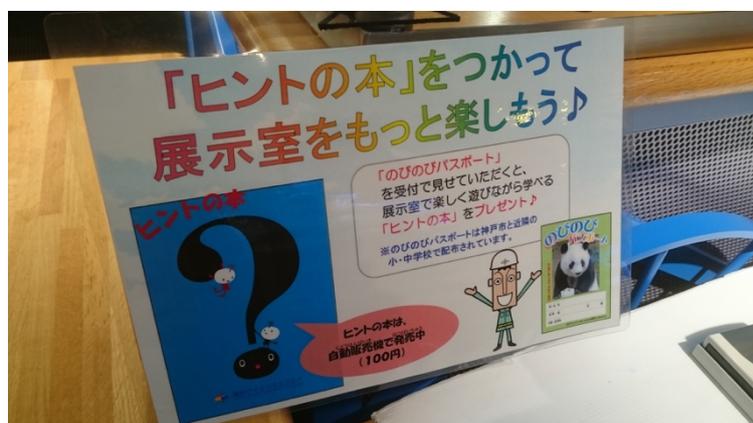


「透明な筒の両端に何かがついていて、覗きこむような穴がある…何これ？どうやって遊ぶの？…」

と思っていたら…。「おー！なるほど！バネ電話！？声がエコーするよ！」と発見がいっぱい！



遊び方、使い方がわからない場合は、オリエンテーションで配られた「ヒントの本」を活用。



#### 11:50 質問タイム

「ただいま～！暑い～！」と元気に戻ってくる子どもたち。展示室で思いっきり遊んだ後は、ホールで質問タイム。工場や展示室の見学で、気になったこと、不思議に思ったことを質問します。

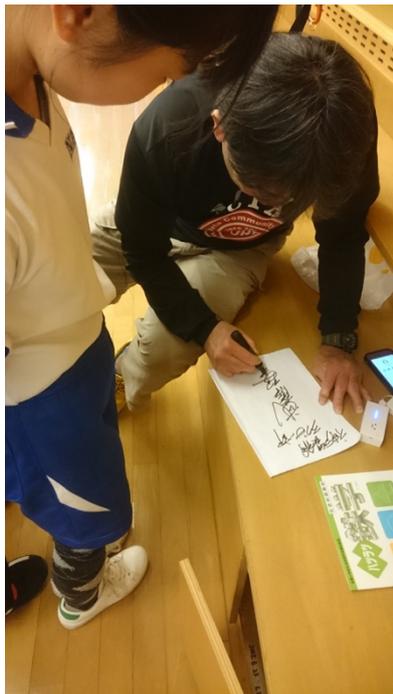


「作っている鉄の太さは？」「工場の機械が壊れたら？」「工場の中の掃除は？」「弁バネ1ついくら？」「工場内に線路があるのは何のため？」…と次々と質問が飛びますが、全ての質問に丁寧に答えてくれます。



### 12:10 ランチタイム

質問タイム終了後は、お楽しみのお弁当タイム！ 各自持参したお弁当をホールで「いっただっきまーす！」



この日、元・神戸製鋼コベルコスティーラーズのメンバーとしてV7に貢献した武藤コーチが、SCIX 事務局として同行していたため、早めにお弁当を食べ終わった子どもたちが、武藤コーチのサインを求め、急遽サイン会が開催されるという場面もありました。名プレイヤーのサインに喜ぶ友達の姿に、「僕も！」「私も！」とドンドン行列が。



ランチタイムの後は、1班のガイドの都竹さんと、2班のガイドの榎本さんが工場見学用制服から館内用ユニフォームに着替えて登場。子どもたちから最後に「分かりやすく説明してくれたので、面白かったです。ありがとうございました！」と、今日の感想とお礼が述べられ、大きな拍手で幕を閉じました。



12:45 バスで灘浜スポーツゾーン灘浜人工芝グラウンドへ移動



灘浜サイエンススクエアでの見学は、これにて終了！ スタッフの皆さんに見送られる中、再びバスに乗り込み、続いてはスペースボールの会場となる灘浜スポーツゾーン灘浜人工芝グラウンドへ出発！



### 13:10 スペースボール会場到着

灘浜スポーツゾーン灘浜人工芝グラウンドに足を踏み入れるなり走り出す子どもたち。寒さも吹っ飛ばす勢いです♪



### 13:15 開会式

今回は63名の参加ということで、予め1チーム7~8名×8チームというチームを構成。SCIX事務局・武藤コーチより改めて挨拶と進行スケジュールが伝えられ、「灘小学校スペースボールカップ 2019」が開幕！



各チームの指導、指揮をとる関西学院大学ラグビー部と甲南大学ラグビー部、SCIXラグビークラブ学生メンバーも紹介。



### 13:20 グループごとに練習&練習試合

8チームそれぞれが、日本、アイルランド、南アフリカ、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、アルゼンチンと8ヶ国の国旗がプリントされたビブスを着用。気分も雰囲気もアップします！



まずは、チームに分かれてウォーミングアップ&練習。SCIXから事前に配布したビデオで、スペースボールのルールは把握してもらっているものの、学生コーチが改めてルールを分かりやすく説明します。



学生コーチらが、準備運動やパス練習などをテンポよく展開。鬼ごっこの要素も取り入れながら、遊び感覚で楽しみながらウォーミングアップを行うチームも。



ラグビーボールを触るのは、これが初めてという子どもたちがほとんどながらも、パス練習をしながら慣れていく子どもたち。



楕円球を投げ、キャッチする難しさを知ると同時に、楽しんでいる様子。子どもたちだけでなく、それを見ている先生たちからも笑顔が溢れます。



#### 13:55 大会方式説明

いよいよ試合開始！の前に、武藤コーチより大会方式についての説明。A ブロックを日本、アイルランド、南アフリカ、フランスの4チーム、Bブロックをオーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、アルゼンチンの4チームとし、それぞれのブロックで総当たりの予選リーグを行います。



4コートに分かれ、1試合5分の試合をそれぞれ3試合行い、各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出。準決勝、決勝を行い、優勝チームを決定します。



14:05 予選リーグ開始！

コートに散らばり、一斉にキックオフ！ 各コートで熱戦が繰り広げられます。





14:27 決勝トーナメント開始！

決勝トーナメントには、Aブロック1位のフランス、2位のアイルランド、Bブロック1位のニュージーランド、2位のオーストラリアが進出。



応援に回った予選リーグ敗退のチームから「頑張れよ〜！」という声援が飛ぶなか、決勝トーナメントがスタート！



連戦の疲労が見られつつも、優勝を目指し、みんなの目の色が変わってきます。



決勝は、フランスとニュージーランドの対決。ギャラリーが見守るなか接戦を制したのはフランスチーム！



#### 14:40 表彰式

全試合終了後は集合しての表彰式。

優勝のフランスチームには、表彰状とラグビーボールが贈呈されます。



みんなでやりきった達成感と優勝の喜びに満面の笑みのフランスチーム。



「はじめは出来るかな〜？と不安だったけど、やってみたらすごい楽しかった！ありがとうございます！」とスペースボールの感想を語ります。



「みんな元気いっぱい、スペースボールを楽しそうにやってくれてよかったです！」と語る武藤コーチ。





最後は SCIX イベント恒例の集合写真を撮影し閉幕。

「バイバイ！」とバスを見送り、見学&スペースボールの校外学習は、怪我もなく無事終了しました。



地元の子どもたちに、神戸製鋼での校外学習を通して社会科の学習にお役立て頂くと共に、ラグビーの楽しさをこれからも伝えていければと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。